

建設水道分科会会議記録（概要）

平成26年3月7日（金）

開 会 午後4時0分

**【議 事】**

○議案第15号「平成26年度所沢市水道事業会計予算」

**【補足説明】** な し

**【質 疑】**

桑島委員

特別利益の有形固定資産売却益の、土地売却益について伺いたい。

当麻財務課長

荒幡にある水道事業で有する未利用地について、平成26年度に公募による売却を検討しており、地価公示価格と帳簿価格の差額を利益として計上しております。

桑島委員

売却する土地の面積を伺いたい。

当麻財務課長

100㎡です。

石本委員

下水道使用料徴収事務費負担金のここ3年間の推移を伺いたい。

当麻財務課長

予算額で、平成23年度が3億1,844万9,000円、平成24年度が2億8,613万円、平成25年度が2億5,760万6,000円

です。

石本委員

以前、下水道事業会計は逼迫しているため、水道事業会計と調整してはどうかという話が出たが、そういったものを配慮して減額したのか。

当麻財務課長

そうではありませんが、水道事業もコスト削減等により、徴収経費の総額が下がっているため、全体的に負担金額が下がっております。

桑島委員

その他雑収益の主なものを伺いたい。

当麻財務課長

主なものは、交換済みのメーターの売却費で、約420万円を見込んでいます。

荒川委員

長期前受金戻入は新規項目であるが、説明をお願いしたい。

当麻財務課長

新会計制度に対応したもので、水道事業の減価償却制度の改正に伴い、新たに生じる利益です。

久保田委員

浄水場除草・剪定業務委託について、回数を伺いたい。

肥沼給水管理

3回です。

課長

久保田委員

給水管漏水修繕業務委託について、漏水は何カ所あったのか伺いたい。

肥沼給水管理

169カ所です。

課長

久保田委員

年間で修繕の多い時期と少ない時期を伺いたい。

肥沼給水管理

多いのは夏季で、少ないのは冬季です。

課長

杉田委員

道路漏水の漏水量は把握できているのか。

肥沼給水管理

通報後、修繕するまでの時間で推計を出しております。平成24年度の

課長

漏水量は、2万1,573 m<sup>3</sup>です。

植竹委員

工事請負費の耐震性貯水槽設置工事は、伸栄小学校の工事でよいか。

埜澤水道建設

そのとおりです。

課長

植竹委員	南小学校の貯水槽の工事費用はどこに計上しているのか。
埜澤水道建設課長	平成27年度の工事を計画しており、26年度に設計をするため、委託料の中に設計業務委託を計上しております。
桑島委員	報償費の謝礼について伺いたい。また、事務服が廃止されることになったが、被服費が計上されていることについて伺いたい。
粕谷料金課長	謝礼について、債務負担行為に計上している包括委託料の選定委員として外部委員に助言をいただくため、1万円を3人分、場合によってということで2回分計上しております。被服費については、事務服ではなく料金課職員の現場用の作業服です。
荒川委員	貸倒損失は、貸倒引当金に積むのか。
当麻財務課長	貸倒引当金繰入額については、新会計制度に対応したもので、平成27年度の貸倒について、26年度のうちにあらかじめ積んでおくものです。貸倒損失については、従来の不納欠損です。
荒川委員	賞与引当金などあるが、すべて平成27年度分ということでよいか。

当麻財務課長	そのとおりです。
桑島委員	土地譲渡損について伺いたい。
当麻財務課長	水道事業が有する未利用地2カ所を一般会計に無償譲渡するものです。 場所については三ヶ島の山林5,920㎡、中新井の宅地72㎡です。
桑島委員	一般会計ではどのように計上されるのか。
当麻財務課長	計上はないと考えられます。
桑島委員	総計予算主義の原則に反するのではないか。
当麻財務課長	企業会計に義務付けられた資産の管理ということで生じるものであり、 会計上資産の概念がない一般会計については、予算上認識する方法はない のではないかと思います。
桑島委員	市側の処理はどうなるのか。
当麻財務課長	三ヶ島の山林については、第5次所沢市総合計画のみどりの保全・増進 に資するために、緑地として保存することになっております。中新井の宅

地は公園課の所管となっております。中新井の公園に隣接した用地で、形状等から現金化が困難なことから、このような形にいたしました。

桑島委員

こういうケースは頻繁にあるのか。

当麻財務課長

頻繁にはありませんが、遊休地、未利用地については処分を進めるとい  
う国の方針もあり、荒幡の土地も売却を予算に計上しております。

杉田委員

民間に売却することはできないのか。

北田上下水道  
部次長

三ヶ島の土地は、山林なので建築等の制限もあり、場所も奥なので売却  
は難しいと思います。また、いずれも他の部局より公共の用に使いたいと  
いう要望がありましたので、所管換えをしました。

桑島委員

今後は同様のケースは想定しにくいということでしょうか。

当麻財務課長

無償譲渡に関してはそのとおりです。

荒川委員

消費税について、仮受けから仮払いを引いた額でよいのか。

当麻財務課長

税務署に納税する額を計上しております。基本的には仮受けから仮払い

を引きますが、この数字が即座にその年度の決算から出た消費税というこ  
とではありません。

荒川委員 仮受け分は水道料金に含まれているのか。

当麻財務課長 含まれております。

桑嶋委員 一部の人の4月分に関しては、消費税分は見ないということなので、仮  
受け分の消費税よりも支払い分の消費税のほうが今回は大きくなり、今回  
水道は、仮受け、仮払いは、赤字が出るということでしょうか。

当麻財務課長 そのとおりです。

桑嶋委員 予算上の仮受けと仮払いの差額を伺いたい。

当麻財務課長 仮受けが4億6,423万435円、仮払いが4億2,943万5,8  
44円です。予算額は納税額で、単純な引き算のみではありません。

石本委員 毎年3月末時点で、どのくらいの未収金が発生するのか。

当麻財務課長 平成24年度の未収金は、5億7,400万円です。

桑島委員	資金が減少する主な要因を伺いたい。
山寄上下水道 部長	損益計算には影響しませんが、配水管等の取得経費が投資活動であり、これが今後大口径管の更新を含めて増えていくということで、内部留保資金でまかなえているという状況を今回は示させていただきました。
荒川委員	4億近く不足しているが、平成25年度の未収金分は入っていないのか。
当麻財務課長	入っております。
松崎委員	現金だけで比較すると約4億円であるが、財務活動によるキャッシュ・フローでは約3.5億円である。これは企業債の償還なので、実際の利益キャッシュ・フローは業務活動と投資活動を合わせるとほぼ同額なのではないかという認識だがどうか。
山寄上下水道 部長	財務活動においても、企業債償還に充てるための費用があったため、そのとおりだと思います。業務活動によるキャッシュの金額を上回ったということです。
桑島委員	時間外及び休日勤務手当を削減するとのことだが、前年度並ではないの

か。24万円の根拠を伺いたい。

木下総務担当 時間外及び休日勤務手当については、実績を元に積算しており、市長部  
参事 局と同様に削減に努めておりますが、水道事業については夜間工事が増え  
ている状況であり、また濁水、漏水事故等が発生すると、部全職員で電話  
対応や現場対応をすることがあり、深夜までかかることもありますので、  
予算上はある程度の時間外勤務手当の額を確保したということです。

桑島委員 時間外勤務と休日勤務の割合を伺いたい。

木下総務担当 休日勤務手当は、祝日に出勤した場合や、年末年始に出勤した場合の手  
参事 当であり、積算はほとんど時間外勤務手当を考えております。

桑島委員 退職給付費は、現時点で全員が退職した場合と共済の総積立額の差額  
という理解でよいか。

木下総務担当 そのとおりです。平成25年度末での数字です。

参事

桑島委員 現金の裏づけのない収益も増えるが、退職給付費については逆に現金の  
裏づけのない支出ということによいか。

当麻財務課長                    そのとおりです。制度移行時に、一括して不足分を引き当てたため、今後退職給付総額が減少すれば、ここから利益として取り崩したり、積んだりする取り扱いとなります。

桑島委員                        特別損失について詳しく伺いたい。

当麻財務課長                    一つ目は土地の譲渡損、二つ目は新会計制度に伴う引当金の計上、主なものは退職給付引当金です。

久保田委員                      水道工事を扱っている業者で、下請けに出している業者はあるのか。

肥沼給水管理  
課長                              指定給水装置工事事業者ということで申請に対して指定しているため、下請けはありません。

杉田委員                        更新する大口径管は、設置後何年経過しているのか。

埜澤水道建設  
課長                              管の更新の対象となるのが、40年以上ということで、おおむねその年数と考えていただければと思います。

**【 質疑終結 】**

休 憩      午後4時46分

(説明員交代)

再 開 午後4時48分

○議案第16号「平成26年度所沢市下水道事業会計予算」

【補足説明】 な し

【質 疑】

- |        |   |
|--------|---|
| 桑島委員   | 雨水処理に係る負担金の負担金割合について、算出根拠を伺いたい。   |
| 当麻財務課長 | 雨水処理に係る維持管理費が計上されております。合流管があるため、適宜按分で算出しております。ほかには資本費として企業債の利息と減価償却費になり、減価償却費については個別に評価しております。合流管についても、雨水と汚水を按分する方法は確立しておりますので、それに基づいて算出しております。 |
| 桑島委員   | 本市の雨水と汚水の按分割合を伺いたい。   |
| 当麻財務課長 | 流量計算表等により積算し、合流施設に関しては雨水69、汚水31で按分しております。   |
| 石本委員   | 雨水処理に係る負担金は、過去の予算上どのような推移になっているのか。  |
| 当麻財務課長 | 平成25年度は10億2,862万2,000円でした。企業会計化前は、一般会計繰入金として一括して扱ってございましたので、雨水処理に係  |

る負担金という科目はありませんでした。

荒川委員

営業外収益のうち、他会計負担金と他会計補助金について説明を伺いたい。

当麻財務課長

他会計負担金については、雨水処理以外の、いわゆる総務省で定める基準内繰入に係るものです。主に、公益性の高い汚水処理、流域下水道費の一部、水質規制の費用等が該当します。他会計補助金については、汚水処理費ですが、本来は下水道使用料で回収すべきものをまかないきれないので、一般会計からの補助としてお願いしたものです。

石本委員

電線地中化工事に伴う下水道施設移設について、ここ数年間で電線地中化が増えてきているが、傾向を伺いたい。

中村下水道維持課長

今年度埼玉県が元町の電線地中化を考えていましたが、下水道管を含めた移設を見込んでいなかったため、平成26年度に下水道管も含めた移設を見込んで入れたものなので、25年度分を県が繰り越したものです。傾向としては、それほど進んでいないように思います。

桑島委員

約2億円の資金増加額がある。どのように要因分析をしているか。

当麻財務課長	<p>予算規模にもより、予算の中には現金の収入や支出を伴うもの、伴わないものがあり、そのバランス的なものがあります。単年度のみ差額を見て評価することは難しいです。</p>
北田上下水道部次長	<p>減価償却費が増になり、内部留保した資金がとどまったため、その分が増えたということです。</p>
桑島委員	<p>減価償却費分が増えたが、減価償却費を立てる項目が増えたからである。この現金は本当にあるのか。</p>
北田上下水道部次長	<p>そういった理由もあり、平成26年度は建設改良工事の件数がかなり少ないという要因もあります。</p>
桑島委員	<p>時間外及び休日勤務手当について、下水道の休日は上水道と同じく祝日だけなのか。</p>
高橋総務課主幹	<p>水道と状況は同じです。金額については、平成25年度に上水道との統合がありましたので、その分増えておりましたが、正常な状態になったことから、金額も戻り、上水道よりも多い97万円の減額となったものです。</p>
桑島委員	<p>下水道担当の職員の休日勤務手当は減少しているという認識でよいか。</p>

高橋総務課主幹	そのとおりです。ただし、上水道と協力し、漏水、濁水等への対応を図っていくことから、実績を勘案しこの金額としております。
桑島委員	下水道事業費の特別損失について、基本的には退職給付引当金の差額分ということによいか。
当麻財務課長	大部分については、新制度移行に伴う引当金、主に退職給付引き当ての関係です。一部、車両の余剰分を売却した分もあります。
桑島委員	車両の余剰分については、取得価格と販売価格の差額なのか。
当麻財務課長	販売価格と帳簿価額の差額です。減価償却が進行しておりますので、残存価額を差し引きます。
桑島委員	上水道のように、土地などを一般会計に譲渡するというものは、下水道にはなかったのか。
当麻財務課長	車両の譲渡はありますが、土地に関してはありません。
石本委員	上下水道が統合し1年が経過するが、予算的に検証したのか。

木下総務担当  
参事

平成25年度の決算を待ち、検証していきたいと思います。

久保田委員

統合後1年が経過するが、人間関係は難しいと思う。これまで問題はなかったか。また、今後どのようにしていくのか、考えを伺いたい。

北田上下水道  
部次長

1年経過し、緊急の事故等が発生した場合には、上下水道部全体で対応することになりました。今後も上下水道部職員が一丸となって進めていこうと考えております。

**【 質疑終結 】**

散 会 午後5時7分